



コープリハビリテーション病院・老健あかねだより

コープリハビリテーション病院は、川崎医科大学附属病院と倉敷中央病院との連携病院です。

コープリハビリテーション病院に 赴任して

医師 川村 淳



訪問リハビリ 利用者の心肺機能評価

今年の5月よりコープリハビリテーション病院・老健あかねにてお世話になっていきます。毎週火曜日訪問リハビリ

や通所リハビリに携わらせていただいております。これまでの急性期医療の経験からリハビリは今日の超高齢社会で生き生きと在宅で生活をしていくうえで重要な医療・介護サービスであると痛感しています。損なわれた機能を回復し、健全な機能をさらに伸ばすことを絶え間なく続けていくことが健康寿命を延ばす上で大切だと考えています。様々な事情を抱えた一人ひとりの患者さんのニーズを実際の生

活の場でしっかりと踏まえ、その人らしい生活の実現、維持ができるよう家族はもちろん、リハビリ医療・介護に関わる全ての職種のチームの一員として関わっていきたくと思います。どうぞよろしくお願いたします。



通所リハビリ 利用者・家族の要望を医師としてまとめる

実践！地域まるごとリハビリ

岡山県高齢者福祉生活協同組合

ディサービス ささえ愛との連携

管理者 藤原佐起子さんへのインタビュー

同じコープ仲間であるささえ愛とコープリハの連携が6月で5ヶ月を迎えました。連携してからの大きな変化は利用者運動を前向きに取り組みようになった事です。

利用開始時にコープリハのリハビリ職員が利用者のアセスメントを行ない、何が問題なのかをまず説明します。ここが利用者の心を掴んでいることです。筋力はあるけどバランスが弱い、軽い運動でも息切れが起きるからまず

は準備運動を中心に、など具体的なメニューの提案で利用者のやる気スイッチが入るようです。今まではなんとなく集団で運動していたけど、自分のどこを鍛えるかというのかが分かり、自分のためと主体的に運動するようになったそうです。そんな様子を見ていた他の利用者が私もして欲しいと言われ、新たな利用者が参加するといった好循環が生まれ、既に7名の方が利用されています。



新規利用者の動作能を評価する

利用者との契約時にはケアマネージャーさんが他法人と連携事業はまだ聞いた事がないと驚かれたとのこと。法人を越えた連携は始まったばかりですが、リハビリという新たな挑戦を現場に定着させ、利用者が元気になる取り組みとしていきたいです。

コープリハビリテーション病院
リハビリテーション科

佐藤 雅昭

倉敷中央高校3年生介護実習



利用者さんとレクリエーションの様子

令和元年5月21日から6月7日の3週間にわたり倉敷中央高校福祉科3年生の3名が老健あかね6・7階に介護実習にいられました。最初の頃は緊張がうかがえ、利用者の方と関わることに躊躇したり難しい様子もありましたが、日を追うごとに現場にも慣れて笑

顔で積極的に取り組む姿が多く見られるようになりました。特に学生さん主催のレクリエーションでは利用者の方の笑顔・笑い声が沢山溢れ、充実したものとなりました。老健あかねでの実習を経て、令和という新しい時代の介護職を担う社会人となり、将来同じ現場で働けることを楽しみにしています。私自身も実習指導者として経験することで多くの学びがありました。今後も介護福祉士として、良い手本となるよう努力していかねければならないと改めて感じました。

老健あかね
介護福祉士 松元 洋行

看護就職フェア

5月に行われた看護就職フェアにて、当院の概要を説明する中で参加者の質問で多かったのは大きく分けて2つです。1つは業務関係のこと。当院は2交代制であり、参加者はそれを知ると業務内容や勤務時間など興味津々に聞かれました。また、回リハ病棟・療養病棟からそれぞれ職員が参加したため、具体的な業務や役割を伝えることが出来ました。もう1つは患者層に関すること。リハビリ病棟と聞けば骨折では自立した患者が多いイメージを持たれていました。しかし、当病棟では脳血管疾患の患者が約半数で、寝たきり状態や経管栄養、なかには気管切開で入院する方も少な

3階病棟 水畑 拓馬



リハビリ看護3年目職員が看護就職フェアで病院の説明

入院や入所に際して、部屋代はいただいません。

介護者の会

きずなの会に入リませんか？

介護者の会「きずなの会」は、介護されている家族の方々がつくっている会です。日頃なかなか言えない介護の悩みや苦勞、今の思いなどを語り合い、同じ仲間同士で交流する会です。介護をしている者同士、不思議なものでもない話が弾みます。会では、介護体験を語り合う会、倉敷市との懇談会、学習会、バザー活動などを行っています。

5月には年1回の総会を行いました。初参加の方も含

め15名が参加されました。総会後の学習では「今日の終活事情についてー不安の解決が人生の活力にー」というテーマでのうえエヴァホール水島の日浦氏が講演され参加者の大きな共感を呼びました。最期を迎えるために必要な事である終活とは、終焉を見つめ準備をすることで今をよりよく生きていくためにエンディングノートの活用を整理していきましょうとお話でした。会場からは多くの質問が寄せられました。



きずなの会総会

きずなの会ではみなさんの入会をお待ちしています。相談室までお気軽にお越しください。

老健あかね
相談室 支援相談員
大野 珠美

在宅を支える 生協事業所の定期集會

住む場所ではなくどう暮らすか

院長 鍛本真一郎

事例報告者



コープリハ 通リハ 林田 和美
生協ケアマネジャー 峠本 ひとみ
コープリハ 外来 西 みどり

【はじめに】
倉敷医療生活協の在宅部門は診療所、ケアマネージャー、訪問・通所サービスなど多岐にわたります。そこで働く職員は家で暮ら

す患者さんの接し方で日々悩んでいます。それを定期的に持ち寄って複数の立場から意見を交わすのがこの集いです。集會場所を提供しているコープリハビリテーション病院と老健あかねにとっても退院後の暮らしを知る貴重な機会です。

【今日の3事例】
お2人は体の動きは達者ですが、高次脳機能障害で状況に応じてうまく対応する行動がとれません。家族も困惑します。そこに医療・介護はどう接するか悩みます。教訓は退院して暮らしに戻る

ときの不安材料をどれだけ予測できるかです。少々の居宅サービスを押し付けても本人の満足度は変わりませんから。3人目は頭は達者ですが、不自由な体の衰えを各職種が統一した方法で予防して欲しいという要望でした。3人とも衣食住がそろった環境に移ればいい、と言うのは簡単です。けれども必要なのはひとり暮らしでも社会とつながり自分の居場所があることです。それは空間的な箱ではありません。どう暮らすかまで私たちに課せられています。

【参加した職員の感想】
「おかげで霧が晴れた気分」、「総力戦で支えるのだと思つた」、「努力が報われた会でした」、「障害を抱える患者さんにとっては退院がゴールではありませんね」、「互いに見えないことを補う(※)リハビリ

新入職員紹介



コープリハビリテーション病院 作業療法士 松本 遥祐
コープリハビリテーション病院 理学療法士 徳山 太一
コープリハビリテーション病院 理学療法士 小林 智治
コープリハビリテーション病院 言語聴覚士 赤木 綾子

リハビリ科

新リーダー紹介



前田 一司
4月よりリハビリ科シヨン科

の副主任をさせて頂くことになりました前田一司です。私は倉敷医療生活協に入職して10年目になります。入職より6年間は水島協同病院で働き、4年前に当院回復期に異動になりました。水島協同病院では廃用予防やリスク管理をしながらのリハビリを行い、今思うと患者さんの生活はあまり頭になかったように思います。回復期では、患者さんの退院後の生活を第一に考え、いかに孤立せず健やかに暮らせるかを目標にリハビリを行っています。またチーム医療の大切さ、一つの目標に向かって多職種が一緒に働くことを4年間で学んだと思います。今後は、病院全体が退院後、在宅での生活の支えになれるよう、また地域に必要な病院と言われるよう尽力していきたいと思っています。

コープリハビリテーション病院
理学療法士
副主任 前田 一司

| 診療表 | | | | | 老健あかね [086-446-6541] | |
|---|---------------|-------------|-------|------------|-------------------------|------------|
| コープリハビリテーション病院 外来受付時間 8:30~12:00 [086-444-3212] | | | | | 訪問リハビリ | 通所リハビリ |
| | 外来 | 装具外来 | 歯科 | 短時間通所リハビリ | 短期集中健卒アップ教室 | |
| 診療時間 | 午前 9:00~12:30 | 14:30~15:00 | 午後 | 9:00~16:50 | 9:30~11:00 | 9:00~16:00 |
| 月 | | | | ○ | | ○ |
| 火 | 渡辺 | (予約制) | (予約制) | ○ | | ○ |
| 水 | 飯塚 | | | ○ | | ○ |
| 木 | 太田 | | (予約制) | ○ | | ○ |
| 金 | 飯塚 | | | ○ | | ○ |
| 土 | | | | | ○ | ○ |

| 医療福祉相談・連携室 | | |
|------------|------|------------------------|
| 相談 受付時間 | 平日 | 9:00~12:00 13:30~16:30 |
| | 土曜日 | 9:00~12:00 |
| | 日・祝日 | 休み |

○お問い合わせ先
倉敷医療生活協同組合
コープリハビリテーション病院
老人保健施設 老健あかね
TEL 086-444-3212 (代表)
受付時間 平日 9:00~16:30
土曜日 9:00~12:00
(日祝・年末年始を除く)

〒712-8057
倉敷市水島東千鳥町 1-60
ホームページ
http://coopreha.jp/
メールアドレス
info@coopreha.jp
広報委員会
発行責任者 笹館 勝人

老健あかねは、通所リハビリ・訪問リハビリ・短時間通所リハビリとの連携をしています。